



『日本全国地図の謎』(291.0)
浅井建爾/著 東京書籍

夏休みどこに行きますか？
どこにも行かなくても、地図だけで妄想旅行も
いいですね。
謎を追うミステリーツアーに出かけてみて下
さい。



『ボールペンでかんたん！
プチかわいいイラストが描ける本』
(726) カモ/著 メイツ出版

イラストを描くのはちょっと苦手！
そう思っている人こそ、手にとってみてくださ
い。
基本がわかればおしゃれなオリジナルイラスト
が、あなたもきっと描けるはず…。



『ガーリーラッピングレッスン』
(385.9) アスペクト

さまざまな素材でプレゼントをかわいく飾る
方法をレクチャーします。菓子箱、ジャムビン、
超簡単ぼち袋など幅広いアイデアを紹介。
なんでもない日のちょっとしたおすそ分けに
もぜひ活用してみてください。

利用案内

- ◆大和郡山市に在住・在学・在勤の方は、利用者カードを作ることができます。
- ◆8冊まで、2週間借りられます。
- ◆貸出中の本の予約、所蔵していない本のリクエストができます。
- ◆司書が調べ物のアシストをします。探している本が見つからないときは、お気軽にお尋ねください。

図書館のホームページを使って

- ◇パスワードを登録→貸出中の本の予約
貸出本の延長(予約が入っている場合は不可)
- ◇メールアドレスを登録→予約本の取置きをメールでお知らせ

【P C】 <https://www.yamatokoriyama-library.jp/>
【携帯】 <https://www.yamatokoriyama-library.jp/toshoi/>



【開館時間】
土曜日 9:30~21:00 土曜日以外 9:30~19:00

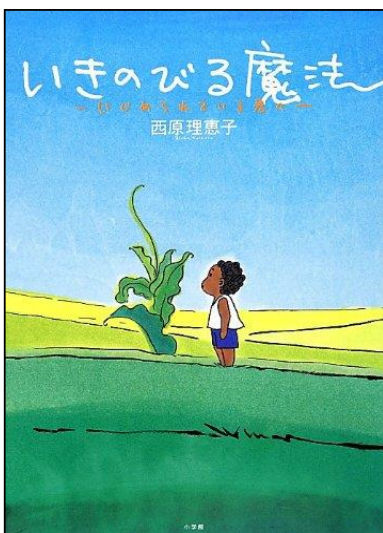
【休館日】
毎週火曜日、第1・第3水曜日(祝日にあたる場合は翌日休館)
年末年始 特別整理期間

【大和郡山市立図書館】
大和郡山市北郡山町211-3 やまと郡山城ホール内
TEL:0743-55-6600

yondoco

中学校・高校版 第13号 2013.07発行

図書館おすすめの本 ()内は、分類です。



『いきのびる魔法』(37)
西原理恵子/著 小学館

学校はいじめられてつらい思
いをして行く所じゃない。
逃げて下さい。そして16歳ま
で生きのびて下さい。
16歳になれば、通信制学校、
高卒認定試験があり、その先
に必ず生きていてよかったと思
える人生が待っています。



『私を知らないで』(Bシラ)
白河三兔/著 集英社

中2の夏の終わり、誰よりも美しい新藤ひかりは「キヨコ」と呼ばれ、クラス中から無視されていた。その「キヨコ」のたくましさ、現実への立ちむかい方、それぞれの登場人物たちのそれぞれのミステリーが明らかになっていく。



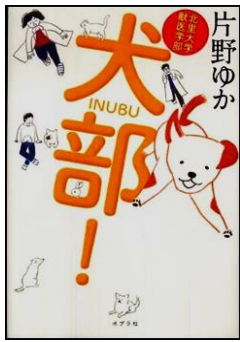
『くちびるに歌を』(ナカ)
中田永一/著 小学館

五島列島にある中学合唱部での数ヶ月のできごと。自分には、いっしょに歌ってくれる仲間がいた。このまぶしいくらい、さわやかな感動の物語を書いたのが、あの乙ーだったとは…。二度びっくり！！



『ペンギンの教え』(Dコ)
小菅正夫/著 講談社

北海道旭川市にある旭山動物園はなぜ人気なのか？その秘密を、アイデア豊かで動物を愛してやまない園長先生にたずねます。「かわいい」というだけで動物を見てはいけないと力説する園長先生の目は、常に地球の未来をみつめているんです。



『犬部』(645)
片野ゆか/著 ポプラ社

北里大学獣医学部学生の一の犬バカが始めたサークル。その名も「犬部」。行き場の無い動物を保護し、新しい飼い主を見つけようと奮闘する部員たちの様子を、主役の犬たちの写真付きで綴ったノンフィクションです。



『「美しい」ってなんだろう 美術のすすめ』(70)
森村泰昌/著 イースト・プレス

あなたの「美しい」ってどんなもの？
絵を描くのが好きな人も、苦手な人も、きっと絵が好きになる。
きっと違う「モノ」に出会えるはず！！



『肉筆幽霊画の世界』(721)
安村敏信/著 新人物往来社

暑い夏の夜を、涼しく過ごすために最適の一冊。
美人の幽霊画、飛び出す幽霊画、珍しい男の幽霊画。
ユーモア幽霊画もあります。



『オレたちの明日に向かって』(ヤツ)
八東澄子/著 ポプラ社

さえない中学校生活を送っている花岡勇氣。
でも、職業体験をすることになった保険代理店で、
いろいろな人と会うことによって、明日に向かって
生きる勇気がわいてきた。



『ふむふむ おしえて、お仕事！』(366.2)
三浦しをん/著 新潮社

いつも仕事を通して人々の在り方を描く三浦しをんさんが、職人さんや芸人さん、特殊技能を活かして働く女性にインタビューしています。
意外な職業の裏側、仕事を選んだ理由にふむふむと相槌をうちながら読めます。



『あなたのたいせつなものはなんですか？』
山本敏晴/写真・文 小学館 (30)

戦争を放棄し、戦力を持たないと定めた第9条。憲法を変えようという「改憲派」、守ろうという「護憲派」。それぞれ何を大切にしているかで意見が分かれるところ。
まずは、あなたの大切にしているものは何かを考えてみて下さい。



『まるごと日本の道具』(38)
面矢慎介/監修 学研教育出版

暮らしを便利に豊かにする道具。
日本の古今東西から集めました。
見ているだけで楽しい、なつかしい道具、その数1000点。
人類の発展は道具の発明からはじまったのです。
かしこく上手に利用しましょう。



『ふたりのロッテ』(BNケス)
エーリヒ・ケストナー/作 岩波書店

もしも自分にふたごのきょうだいがいたら…なんて考えたことはありませんか。
互いの存在を知らずに育った9才の女の子のふたご、ロッテとルイーズは夏休みのスイスの林間学校で偶然出会います。
夏休みの終わるとき、二人は入れ替わって家に帰る計画を実行するのですが――。



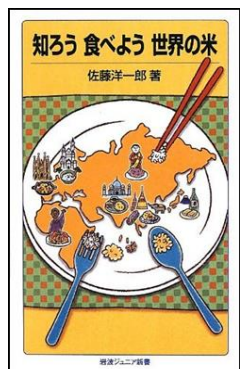
『こっそりごっそりまちをかえよう。』(527)
三浦丈典/文 斉藤弥世/絵 彰国社

論理的でも客観的でもないやり方で、自分のいる場所のことを考え直してみる。
「このおおきな世界をつくる、ほんのちいさな作戦。」を、ひとつだけこっそり決行してみてもいいかもしれない。



『わざわざことわざ』(81)
五味太郎/著 絵本館

なかなかつかうことのないことわざを、「現役」で使ってみよう！
たとえば、「うそつきはどろぼうのはじまり」→「やみつきはどろぬまのはじまり」という具合に。
ユーモア満載の一冊。



『知ろう 食べよう 世界の米』(61)
佐藤洋一郎/著 岩波書店

チャーハン、お餅、お寿司にお酒…。日本の食文化の中心にあるお米は、世界の五大陸で栽培され、多くの種類があります。
それぞれの地域で、その土地や気候にあった方法で栽培され、さまざまな調理法で食べられています。



『ふるさとは、夏』(シバ)
芝田勝茂/著 パロル舎

この夏旅行に行く人も行かない人も、この本で田舎の夏を体験してみませんか？
みち夫のように最初なじめなくても、おかしな神様たちに出会って、ユカイなひと夏の思い出が出来ます。
そして、自然や家族を見る目がちよっぴり変わるかも！？